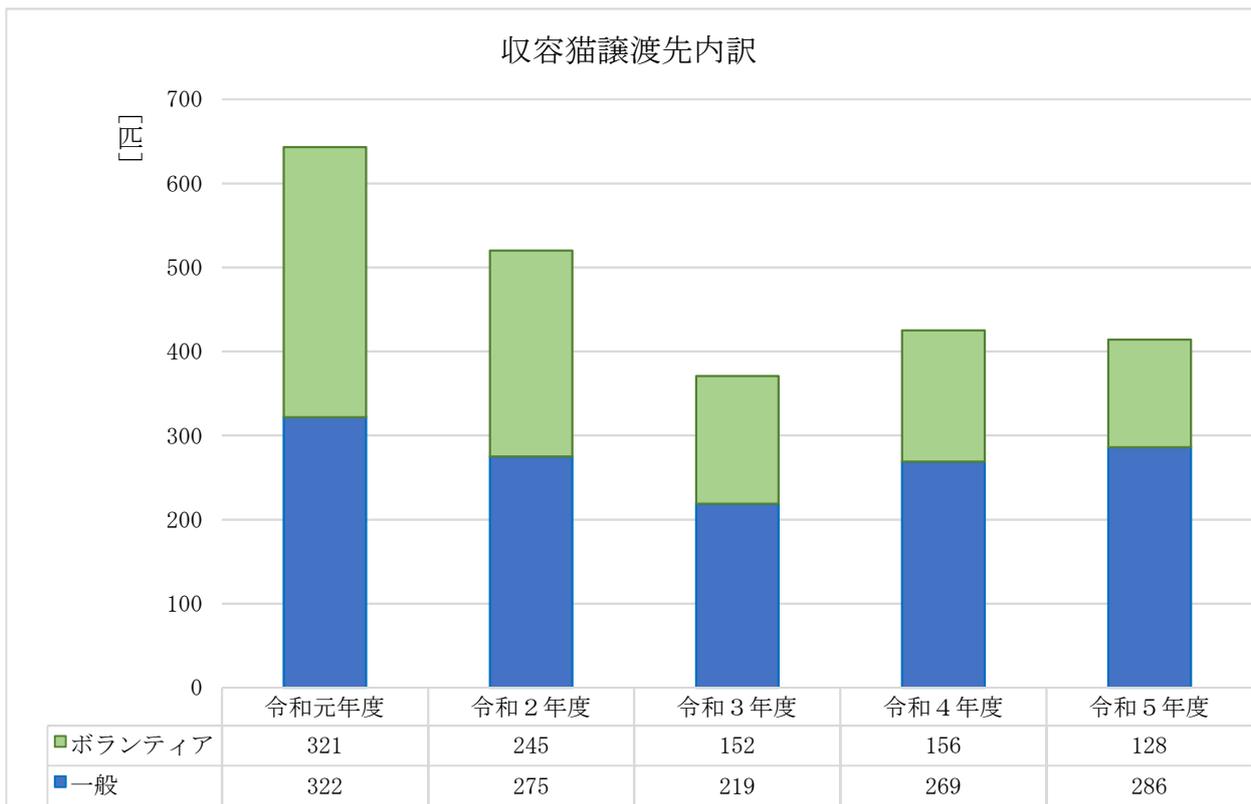
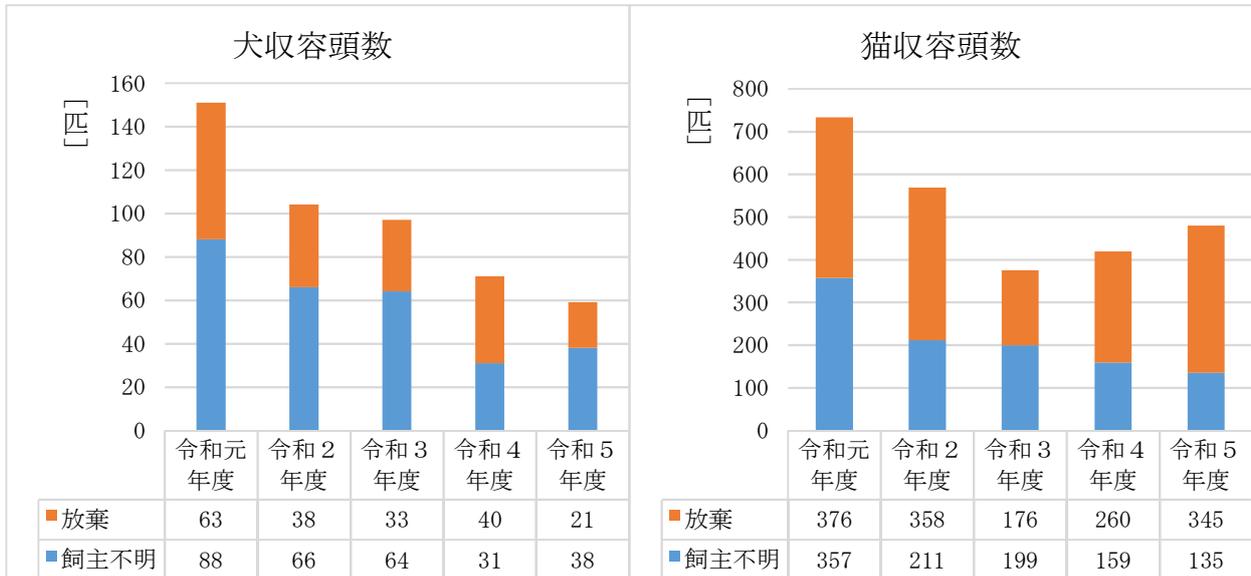


## センター収容動物の増加に伴う新たな取り組みの紹介

### 1 センター収容動物数の推移



※令和5年度の数値は全て2月末現在

※動物愛護管理センターの収容可能頭数（犬：9匹、猫：88匹（内成猫：56匹））

## 2 新センター移行後に開始した新たな取り組み

収容動物の譲渡促進のため以下の取り組みを新たに開始した。

### (1) 動物の状態の向上

#### ア 臨床獣医師による往診

収容動物の健康管理機能の向上を目的に、令和6年1月から札幌市小動物獣医師会の獣医師による週一回の往診業務委託を開始した。

#### イ 収容動物の馴化

収容猫の譲渡促進を図るため、札幌市動物愛護ボランティアに協力いただき、人に慣れていない個体の馴化を実施している。

### (2) 譲渡機会の拡大

#### ア 連携団体との譲渡会の共同開催

新センター屋内運動場を活用し、市民団体登録制度に登録している団体による個体の譲渡会を計3回開催した。うち2回はセンター収容動物の譲渡会も同時に実施し、譲渡の促進を図った。

また、3月中に4回目の開催を予定している。

### (3) 情報発信の強化

#### ア SNSやホームページでの積極的な発信

センター収容動物の譲渡促進を目的に、収容状況がひっ迫している旨を投稿して譲渡を呼び掛けたほか、収容猫の特徴やセンターで過ごしている様子を職員や動物愛護推進員が解説、アピールする「押し猫ツイート」などを投稿。オープン前と比較してフォロワー数が大きく増加した。(約2500→約6000)

また、市公式ホームページの収容動物紹介ページにおいて、紹介文や写真を充実させ、収容動物の魅力が伝わるよう工夫した。

#### イ 各種広報媒体への広告掲載

新センターオープンを機に、多様な媒体に収容動物の譲渡促進にかかる広告を掲載した。

- ・地下歩行空間(15秒動画)
- ・市電の電車停留所(静止画)
- ・地下鉄大通駅内市政PRコーナー(静止画)
- ・各区戸籍住民課デジタルサイネージ(15秒動画)
- ・ラジオCM(60秒原稿読み上げ)
- ・札幌市公式LINEでの配信(テキスト及び静止画)

#### ウ チラシの配布

収容動物譲渡促進チラシを作成し、各区役所・保健センター、市内動物病院等に配布した。